■　平成３０年度活動報告

１　会員への情報提供及び情報交換

（１）総会／研究成果・事例報告会

開催年月日：平成３０年６月７日
会　　場：ホテルグリーンタワー幕張
参　　加：９３名
テ　ー　マ：「食品機能性ペプチドの先端技術と応用」
内　　容：
①　総会
平成２９年度事業報告、平成３０年度事業方針、その他
②　事例報告会「食品機能性ペプチドの先端技術と応用」
a.「網羅的ペプチドの解析に関する研究開発」
（公財）かずさＤＮＡ研究所　ゲノム事業推進部　生体分子解析グループ
グループ長　鈴木　秀幸　氏
b.「新規機能性ペプチドの探索と腸－脳連関」
京都大学大学院農学研究科　食品生物科学専攻食品生理機能学分野
准教授　大日向　耕作　氏
c.「森永乳業における乳ペプチド開発」
森永乳業株式会社　研究本部　素材応用研究所バイオプロセス開発グループ
グループ長　越智　浩　氏
③　情報交換会

（２）セミナー

○　第１回セミナー（ちばの「食」産業連絡協議会と共催）

開催年月日：平成３０年８月７日
会　　場：ホテルグリーンタワー幕張
参　　加：７５名
テ　ー　マ：「食品の高付加価値化セミナー～千葉の農産物・産品を活用した製品開発～」
内　　容：
①　基調講演：消費者にとって魅力のある商品とは　商品戦略と成功のポイント
なの花経営研究所所長・中小企業診断士　　伊能　賢一　氏
②　各種制度・支援事業の紹介
a.「地域資源活用事業」及び「６次産業化・農商工連携事業」について
千葉県商工労働部産業振興課
b. 千葉県産業振興センターの支援事業について
（公財）千葉県産業振興センター

③　県内研究機関・支援機関の紹介

a.（公財）かずさＤＮＡ研究所

b.（独法）製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター

c.千葉県産業支援技術研究所

④　交流会・支援機関との個別相談

○　第２回セミナー

開催年月日：平成３０年１１月９日

会　　場：ペリエホール

参　　加：４２名

テ　ー　マ：「スマートセルによる新たなものづくりの可能性～脱化石燃料社会の実現に向けて～」

内　　容：

①　「スマートセル」を取り巻く環境と国内外動向（バイオエコノミーの紹介）
（公財）かずさＤＮＡ研究所　産官学連携推進センター長　柴田　大輔　氏

②　スマートセルからバイオエコノミー創出へ～NEDO スマートセルプロジェクト紹介～
（国研）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
材料・ナノテクノロジー部　プロジェクトマネージャー　林　智佳子　氏

③　かずさＤＮＡ研究所のスマートセルプロジェクトへの取組
（公財）かずさＤＮＡ研究所　先端研究開発部　染色体工学研究室
室長　舛本　寛　氏

④　独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE）の取組紹介

⑤　かずさインキュベーションセンターの紹介

⑥　交流会

○　第３回セミナー（千葉市産業振興財団と共催）

開催年月日：平成３１年１月３０日

会　　場：ホテルポートプラザちば

参　　加：４３名

テ　ー　マ：「次世代ヘルスケアビジネス交流会～千葉発！最先端ベンチャービジネスの可能性～」

内　　容：

<u>講演　第１部　がんゲノム解析による近未来医療</u>

①　基調講演
未来医療を見据えたがんゲノム解析の応用、新産業創造の可能性について
千葉県がんセンター研究所　所長　永瀬　浩喜　氏

②　事業化プロジェクト発表
遺伝子解析によるがん発症リスク判定の事業化について
株式会社ゲノムクリニック　代表取締役　曽根原　弘樹　氏

講演　第２部　認知行動療法による精神疾患リスクの回避

①　基調講演

子どものこころの健康や不眠症・うつ病等に対するアプリ処方モデルの提案

千葉大学医学部付属病院　認知行動療法センター長

千葉大学大学院医学研究院　教授　清水　栄司　氏

②　事業化プロジェクト発表

認知行動療法を基にしたアプリ開発事例の紹介

株式会社テレマ　代表取締役　三輪　剛　氏

③　交流懇親会

（３）企画運営会議

開催年月日：平成３１年３月１３日

会　　場：ペリエホール

参　　加：２０名

２　共同研究プロジェクトの創出に向けた取組

（１）共同研究プロジェクトの創出に向けたセミナーの開催

※内容は「１　会員への情報提供及び情報交換」に掲載

平成３０年度は、時機に合うテーマ設定をしたセミナーを３回実施し、会員への情報提供等に加え、共同研究プロジェクトや将来の事業化を促進する取組を行った。

また、平成３０年度活動方針に掲げた他のネットワーク組織との連携の強化に取り組み、セミナーのうち２回を他の組織との共催で連携して実施した。

（２）バイオ・ライフサイエンス分野に関する県庁内連絡会議の開催

バイオ・ライフサイエンス関連分野の取組について、県庁内関係課と試験研究機関等との情報交換を２回実施した。（平成３０年５月３１日、平成３１年３月１４日）

○　健康・医療分野

がんの予防法・診断法・治療法、指定難病の遺伝学的検査

○　農業分野

ＤＮＡマーカー育種（落花生、イチゴ）、遺伝子診断による品種識別法

○　環境分野

環境ＤＮＡによるメタバーコーディング法

○　科学教育

千葉県夢チャレンジ体験スクール（サイエンススクール等）